

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：国際化推進費

事業名【新】「世界に開かれた文化祭」事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 国際交流課 国際連携係・国際交流係 電話番号：058-272-1111(内3971)

E-mail：c11345@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 31,783 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	31,783	0	0	0	0	0	0	0	31,783
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

2024年には、「『清流の国ぎふ』文化祭2024」を開催することとしており、前回の国民文化祭から四半世紀を迎える節目ともなることから、これまでの取組みの集大成と新たな創造の出発として、本県が誇る地域資源やそれを支える県民の取組みはもとより、本県の取組みを国内外へさらに広く発信する絶好の機会である。

この機を捉え、国民文化祭を「世界に開かれた文化祭」として捉え、本県と交流のある国・地域の文化を県民に紹介するとともに、本県の「清流文化」を各国・地域に知っていただくことを通じて、一層の交流の深化を図る。

(2) 事業内容

○ポーランド・シロンスク県の文化紹介事業

・ポーランド・シロンスク県を拠点に活躍する 国立民族合唱舞踊団「シロンスク」公演を実施するとともに、開催に際して歓迎レセプション、県民との交流イベント、パネル展等を開催し、更なる交流の深化を図る。

・ポーランドの特産品フェアを県内観光物産店等で開催し、県民にポーランドの魅力をPRすると共にポーランド文化の理解促進に資する。

○フランス・アルザス地域の文化紹介事業

・アルザスの豊かな食文化「ガストロノミー」に焦点を当て、岐阜県産食材を使ったアルザス料理・アルザスワインフェアや、アルザス地方の特産品フェアを県内観光物産店等で開催し、県民に魅力をPRすると共にアルザス文化の理解促進に資する。

○中国・江西省の文化紹介事業

- ・「江西省芸術団」による公演を県民及び青少年交流向けに実施するとともに、開催に際して歓迎レセプション、パネル展等を開催し、更なる交流の深化を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県とゆかりのある国・地域の交流促進を図るとともに、県として各国・地域との交流の軌跡を主体的に発信・深化させることをねらいとした取組みであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	1,055	関係機関への旅費
対外交流費	600	ポーランド、フランス、中国要人等との懇談
需用費	475	土産代等
役務費	660	通訳費
印刷製本費	500	チラシ、ポスター等広報物の印刷
委託料	28,493	ポーランド、フランス、中国関係イベントの運営委託等
合計	31,783	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県国際交流戦略」に基づき、交流促進を図る様々な取組みを実施。

(2) 国・他県の状況

他府県においても同様の国際交流事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

交流事業としては後年度も継続するが、本事業は来年開催される「『清流の国ぎふ』文化祭2024」に焦点を当てた事業であり、次年度以降の開催なし。

(4) 事業主体及びその妥当性

「『清流の国ぎふ』文化祭2024」の一環として開催する事業であるとともに、県として本県とゆかりのある国・地域の交流促進を図るとともに、同国との交流の軌跡を主体的に発信・深化させることをねらいとした取組みであり、県負担は妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「『清流の国ぎふ』文化祭2024」を通じ、本県と交流のある国・地域の文化を県民に紹介するとともに、本県の「清流文化」を各国・地域に知っていただくことを通じて、県民・国民レベルでの相互理解を深め、今後の永続的な友好関係の構築を図るとともに、県の知名度向上、誘客促進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①外国人延べ宿泊者数		12万人	70万人	120万	200万人	6.0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 3 年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 4 年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>▪ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない</small></p>	
(評価)	
<p>▪ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>▪ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>▪ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 互いの認知度の更なる向上のためには、交流の軸となる分野を定める必要がある一方で、民間団体や県民を巻き込み、官民一体となった幅広い交流等を促進させることで両者の交流に対する気運を一層高めることが出来ると考えられる。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>▪ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 海外との交流については継続的な取組みが重要であり、実施状況を踏まえ、効果的な事業内容・手法を検討していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

【〇〇課】